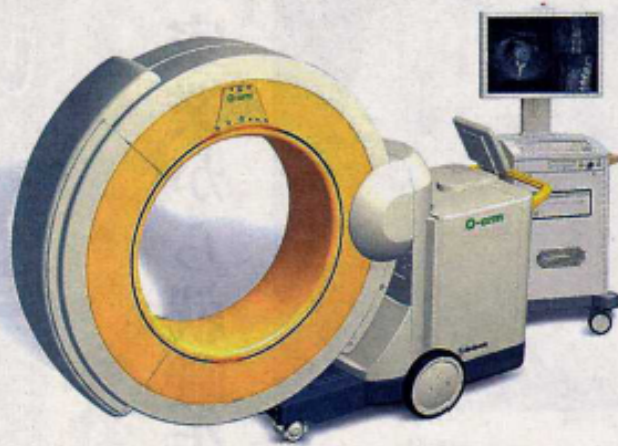


最新鋭術中モバイルCT

コンピューターナビ

製鉄記念 室蘭病院 東北以北で 初導入



製鉄記念室蘭病院に導入される術中モバイルCTとコンピューターナビゲーション。日本メドトロニック社提供。

室蘭市知利別町の製鉄記念室蘭病院の効果があるとい

（松木高雪院長）は、う。

最新鋭の術中モバイルCT（コンピューターナビゲーションとも）が3次元的、かつ高

に認められるなど、易に進められるとい

（低侵襲脊椎手術）による脊椎固定術のほかに、人工関節を埋め込む四肢の手術など、さまざまな手術治療の効果を上げるとい

中の患者が移動することなく、CT画像撮影が可能となる一方で、手術前と手術中との患部の比較がリアルタイムで、容易に進められるとい

高精細3D画像 より手術安全に

と、最新式のコンピューターナビゲーションを導入する。同病院によると、北海道・東北地区では初導入。高精細な3D画像で、手術中に患部を写し出すことが可能となり、難治性の脊椎脊髄疾患の手術などが、より安全

精度に抽出できるため、頸椎から骨盤までの外科的治療に極めて有用」と解説。「脊柱変形や脊椎腫瘍、脊椎靭帯骨化症の外科的治療に極めて有効」と話す。さらに、同院が推進する、正常な筋肉のタメージを最小限

に抑えるため、小さな傷で進める手術（低侵襲脊椎手術）による脊椎固定術のほかに、人工関節を埋め込む四肢の手術など、さまざまな手術治療の効果を上げるとい

（松岡秀宜）